

中央地区学校教育の重点

1 学校教育目標を具現する 教育課程の編成と実施

(1) 創意工夫を生かした特色ある教育活動

◎教育課程編成のねらいを家庭や地域と共有し、**組織的かつ計画的**に全教育活動の質の向上を図る。(カリキュラム・マネジメント)

- ・教科等横断的な視点で育成を目指す資質・能力を明確にし、必要な教育内容を配列する。
- ・各校務分掌の取組状況を見つめ直し、改善策を教育活動に反映させる。

(2) 共生社会の形成に向けた特別支援教育

◎**子どもの困難さに対応**し、互いの個性を認め合い、支え合う関係づくりに努める。

- ・[Ⓢ]UDの考え方を基盤とし、一人一人の障害の状態や特性及び発達の段階に配慮する。
- ・[Ⓢ]子どもや学級の実態に合わせた特別の教育課程により、教育的ニーズに応じた指導や支援を行う。

※[Ⓢ]：通常の学級 [Ⓢ]：特別支援学級

(3) 自助、共助、公助の実現を目指す安全教育

◎情報を正しく判断し**自他の安全を確保**することができるよう、教育活動全体を通じて取り組む。

- ・地域や学校の実情に応じて、学校安全計画を更新し共有する。
- ・実効性のある防犯・交通安全・防災等の取組を、保護者や地域住民、関係機関の協力を得て行う。

(4) 育ちや学びをつなぐ学校間・校種間連携

◎子どもに対する**一貫性のある教育**を推進する。

- ・幼保小の教職員が子どもの成長する姿や指導の在り方を語り合い、スタートカリキュラムに生かす。
- ・子どものよさに着目し、小・中学校が連携して取り組む内容を精選する。

2 思いやりの心や たくましい心と体の育成

(1) 心のかよう生徒指導

◎自己指導能力の獲得を支え、全校体制で不登校・いじめ等の**未然防止**に取り組む。

- ・S Cと連携した課題未然防止教育に関する講話や演習等を、年間指導計画に位置付ける。
- ・自校における生徒指導の重点事項を、日常の授業づくりや学級づくりに反映させる。

(2) 心を育てるふるさと教育

◎地域に根ざしたキャリア教育の視点を踏まえ、**体験的で総合的な**教育活動の充実を図る。

- ・学んだことを自らの生き方につなげて考えられるよう、活動内容を精選する。
- ・子どもが体験活動や各教科等での学びを相互に関連付け、ふるさとのよさを捉え直す場を設定する。

(3) 心に響く道徳教育

◎**教育活動相互の関連を明確**にした計画のもと、豊かな体験や日常的な指導などを通して道徳教育の充実を図る。

◎**道徳的価値に向き合い**、自己を深く見つけることができる授業を展開する。

- ・重点化した内容項目について、別冊などを活用し、機会や時期を捉えて指導する。
- ・ねらいとする道徳的価値に対する子どもの多様な感じ方や考え方を想定し、発問を吟味する。

(4) 心と体の健康づくり

◎体育・健康に関する指導を、全校体制で**計画的、継続的**に行う。

- ・運動の楽しさや大切さを実感できる授業づくりに努め、運動の習慣化につなげる。
- ・心身の健康について、各教科等と関連させたり、教職員等の専門性を生かしたりして指導する。

*Universal Design の考え方
全ての人分かる・できるように工夫、配慮すること

3 資質・能力を育む各教科等の指導

(1) 確かな学力の定着を図る指導

- ◎単元や題材、授業における**指導のねらいを明確**にする。
- ◎基礎的な知識及び技能の**確実な習得**を図る。
- ◎知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育み、**主体的に学習に取り組む態度**を養う。

- ・学習指導要領の目標及び内容について、子どもの学びに照らして理解を深める。
- ・対話や協働を通じて、子どもが問題を発見し解決していく過程を重視する。

(2) 個に応じた指導

- ◎子どもの**実態に応じた指導方法の工夫改善**を進める。

- ・一人一人の学びの進め方や習熟の程度に応じて、教材・教具を提供する。
- ・子どもが自分にふさわしい方法で学習を進められるよう、学習形態等を柔軟に取り入れる。
- ・学習環境を整え、子どもが自由な発想で日常的に*ICTを活用できるようにする。

(3) 一人一人の学ぶ力を伸ばす評価

- ◎適切に設定した評価規準に基づいて、学習の実現状況を把握し、**指導の改善**に生かす。

- ・子どもが自らの学習計画や学習方法について見直す活動を、問題解決の過程に位置付ける。
- ・子どものつまずきや伸びを捉え、発問や指名などの指導の手立てを見直す。

*Information and Communication Technology
情報通信技術

4 教職員一人一人の力量と 学校の組織力の向上を図る研修

(1) 資質能力を高める自己研修

- ◎研修課題を**自ら設定**し、具体的な方法を明確にして研修に努める。

- ・「秋田県教職キャリア指標」のキャリアステージと校務分掌に応じて、自律的に学ぶ。
- ・研修履歴を活用し、管理職等との対話を通して、学びを深める分野を見いだす。

(2) 自校の教育課題の解決を図る校内研修

- ◎学習指導要領の趣旨及び内容について**実践を通じた研修**を積み重ねる。

- ・教職員同士が支え合い、専門性や経験を生かして互いに学び合う。
- ・協働して研修に取り組む体制を構築し、一人一人の参画する意識を高める。

(3) 社会の変化に即応した研修

- ◎現代的な教育課題について、地域・関係機関等と連携して研修を進め、**自校の教育活動の充実**に努める。

- ・専門性をもつ人材を活用し、人権教育や情報モラル教育等に関する研修に取り組む。
- ・*E S Dの視点から自校の取組を捉え、研修課題を焦点化する。

*Education for Sustainable Development
持続可能な社会の創り手を育成する教育

◎：重点事項

管内各校の教育活動において、特に充実を図りたい事項です。充実に向けた手掛かりとなる内容は、**太字**で示しています。

・：具体的実践例

重点事項の**太字**部分を具現している事例や手立てを取り上げています。